

おいます。 Shape版

シェープファイル 対応版!

地図太郎 Shape版とは

シェープファイルを業務で頻繁に扱う方のためにつくられました。 「地図太郎」のシェープファイル取扱い機能を強化したものです。 シェープファイルを直接、【ファイル】⇒【編集レイヤを開く】メニューで開けます。 図形と属性 (dbf) データを編集できます。

地図太郎 Shape 版 価格 ¥52,800 (税込み、送料別)

その1

●シェープファイルを直接読み込み可能!

※シェープファイルを読み込むとメニューが「DBFデータ」に変わります。

検索(S) CSVデータ(C) グラフ・



検索(S) DBFデータ(D) グラフ・

- ※緯経度座標と平面直角座標のシェープファイルに対応しています。
- ※DBF のフィールド定義は「文字列」「整数(9 桁以下)」「実数」のみです。

その2

●シェープファイルの属性データ(DBF ファイル)を 編集可能!



- ※複数のレコードに同じ値の 文字又は数字を入力する場合 など一括変更も可能です。
- ※この画面から文字検索、数値 検索が可能です。



			青報¥A10-11_19_GML¥A10-11_19_GML¥a001			L -/ - Mari			
^	prefec_cd	area_cd	ctv_name	fis_year	thema_no	layer_no	obj_name	area_size	io:
6	19	0	韮崎市翻沢町増穂町白根町白州町芦安村武川	2006	1	11		0.0	
7	19	0	富士吉田市都留市南部町河口湖町西桂町御坂	2006	1	11		0.0	
8	19	0	富士吉田市都留市南部町河口湖町西桂町御坂	2006	1	- 11		0.0	
			III.						+

※DBF 内でレコードのコピー貼り付けができます。フィールドの値のコピー貼り付けも簡単にできます。

●シェープファイルの属性データ(DBFファイル)の フィールド定義の編集可能!



※一度定義づけしたデータタイプは変更できません。

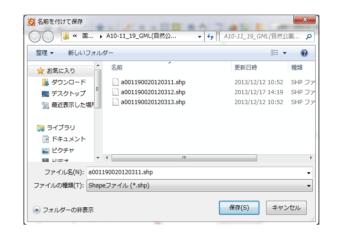
※文字数は最大で半角 254 字です。



その4

●編集したシェープファイルをそのままの座標系で保存!

- ※開いた経緯度座標のシェープファイルは保存時も 経緯度座標のシェープファイルとなります。 開いた平面直角座標のシェープファイルは保存時 も平面直角座標のシェープファイルとなります。 座標系を変更しての保存はできません。
- ※保存時には prj ファイル (○○○.prj、投影情報)と CSV ファイル (○○○.csv、地図太郎属性情報) が できます。



その5

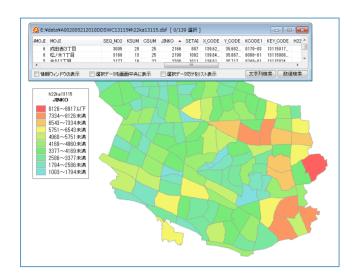
●DBF の値を属性情報表示機能で表示!





※DBF フィールド列を選びその値を図形データ上に表示します。

●DBF の値で塗色分け表示!

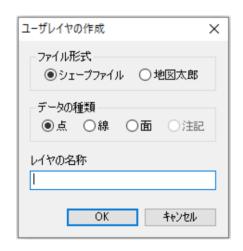


※DBF フィールドを選びその値を色分けできます。



その7

●シェープファイルの新規作成!



- ※新規に作成できるのは経緯度のシェープファイルです。
- ※通常はレイヤ作成後図形データ入力前に DBF の設定を行います。



その8

●シェープファイルの保存時ファイル構成

※編集レイヤを開くで開いたシェープファイルと編集レイヤの新規作成で作成した シェープファイルのファイル構成です。

\bigcirc	JU.	.sn	р
\bigcirc	\bigcirc	.dk	of

○○○.prj (シェープファイルの投影情報)

○○○.csv (地図太郎属性情報、図形の色、記号、塗り等の シェープファイルに保存できない情報)



「地図太郎 Shape 版」の販売について

- ①本ソフト使用者は、GIS とパソコン全般の知識のある方を対象としています。 シェープファイルの概要を理解している方、業務に必要なパソコンの操作ができ、パソコン全般の知識の ある方の使用を想定しています。
- ②ご購入対象者は原則、法人・官公庁となります。
- ③ご購入には、下記「データの読み込み・保存についての仕様」の承諾をお願いいたします。

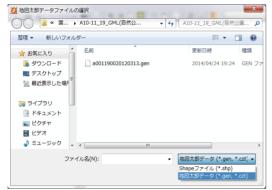
データの読み込み・保存についての仕様

- ・DBF のフィールド定義は実数・整数・文字列に対応します。日付型は文字列として読み込みます。
- ・シェープファイルを読み込むと PointZ、PointM、MultiPoint、MultiPointZ、MultiPointM は Point に、PolyLineZ, PolyLineM は PolyLine に、PolygonZ, PolygonM, MultiPatch は Polygon になります。 元に戻すことはできませんのでご注意下さい。
- ・「地図太郎」は、Shift JIS コードのみに対応しています。



今までの「地図太郎」の機能は

そのまま維持しています。



- ○「地図太郎」の操作性の良さはそのまま引き継いでいます。
- ○gen ファイルの利用もそのままです。
 - ※gen ファイルをシェープファイルに書き出せます。 (この場合の DBF は固定となりますが、再度シェープファイルを読み込めば DBF の編集が可能です。)
- ○Shape 版のライセンスは「地図太郎 ハードウェアキー版」と同様です。
 - ※パッケージ内容: CD-R 1枚 ハードウェアキー1本 (挿した PC のみ起動します。)
 - ※PC 買い替え等に対し、五回までライセンスの設定ができます。

よく使う機能

- ・wrk ファイルで楽々作業中断! ※ワークファイル・・・作業中の表示画面の情報 (開いていたユーザレイヤや 背景地図、表示範囲等)を保存しておくファイルです。
 - ※シェープファイルを読み込んでいる場合でも wrk ファイルの作成が可能です。
- ・地理院地図が簡単表示!
 - ※さらに地図太郎形式のキャッシュ保存が出来るのでオフラインでも背景地図が見られる。(私的利用のみ)
- ・Exif 情報付きの JPEG 画像ならドラックアンドドロップで撮影場所に写真を張り付け!
 ※シェープファイルには反映されません。
- GPX のトラックデータなどの読み込みも可能!
- ・KML ファイルへの書き出しも出来るので GoogleEarth でお客様とやり取りもできる!
- ・Geotiff 画像で切り出し可能!※地理院地図利用の場合は国土地理院の規約に従ってください。